

佐久新校の目指す学校像のイメージ



探究的な学び

- ・新校開校の頃、「探究的な学び」そのものが古い言葉にならないように取り組みたい。
- ・「探究的な学び」は、生徒のいろいろな考えを生み出すことができる。新校でも取り組んでほしい。
- ・主体的で対話的で深い学びが成り立つような授業を目指す方向性に大賛成。ずっと昔に生きていた方々もこのような学びを求めてきた。「新しい学び」という捉えではなく、「本当（真）の学び」が求められているという方向に発信していただくとうれしい。
- ・生徒さんだからこそ発想する、面白い問い、意外な問いも大切にしたい。大人の真似ごとをするのではなく、大人に負けないユニークさを出せることに期待
- ・先駆的な学びの模範となる学校。例えば自分の興味関心に基づく探究（学科、学校の枠を超えた探究）
- ・自分で考え、調べ、悩み、議論を繰り返す。大変なことが楽しいと思えるような学校

新たな学力観

- ・「知っている」知識だけでなく、活用・応用し、組み合わせて問題を解決していく資質・能力を基盤とした「使える知識」としての学力論（コンピテンシー・ベース）
- ・社会で必要とされる意欲、感情の自己調整力や問題解決能力、対人関係力を学力として再定義
- ・個々の物事をバラバラに列挙する「網羅する学習」から、一つひとつの物事の奥にあるもの、見方、考え方が見える「看破する学習」に推移
- ・探究的で教科等横断的な学び
- ・「新しい学び」という捉えではなく、「本当の（真の）学び」が求められている

期待される学校の姿

- ・子供たちの希望が叶えられる学校
- ・大規模な進学校で、地域も生徒の学びも活性化
- ・子どもたちが高校に進学したその先も、地元で貢献できるような人を育てる学校
- ・若い力を地元に残すことができるような、人の育成。
- ・佐久新校が、佐久地域の活性化につながるような存在に。
- ・そこにしかない場所になることを期待
- ・地域に根ざす活動、学習ができる学校
- ・他県からも入学希望者が来るような学校